

町内の貧困と格差の認識は

格差が拡大したとは思えない



名取武一議員

質問：町内の貧困と格差の拡大についてどう認識しているか。

町長：町内で貧困、格差が拡大したとは思えない。

質問：所得最下層（課税標準額10万円以下）の世帯数は9年間で2割増え、最上層（課税標準額1千万円を超える階層）は3割近く増えた。生活保護受給世帯は7年間で3割増えている。

町長：全体のコンマ3%くらいのものが3割増えたとか、小さい部分を拡大しすぎている。

質問：生活困窮者支援活動を広げることができないか。

町長：生活困窮者からの相談を待っているしかない。

質問：町営住宅について、家賃や連帯保証人が2人必要の問題など、生活困窮者に応じた特例を設けることはできないか。

町長：条件を緩めることは考えていない。

■境メガソーラーの建設計画

質問：20年以上前に争われた「ゴルフ場裁判」では、町に対し、現状を維持し、開発計画を推進しないこと、この地域は水源涵養地域（森林法）であり水源水道保全地区（県条例）に相当すると明記され、法律的に保護されるように努力せよというところで和解している。これをどう受け止めるか。

町長：私としては、安全かどうかの判断はできない。県の環境評価条例により、判断を待ちたい。この和解の内容も県に通知しており、県はそれも考慮して判定が出ると思う。

質問：この地域でのいくつかの開発行為があったが、開発が許されたケースはない。町が開発を許可することでも争いになれば町が被告となる。裁判でも勝てるという自信はあるのか。

町長：当事者は地権者と民間会社である。町が地権者の意図を拒絶してやってはいけないと一方的に言うのかを、弁護士に聞いてみたい。

【その他の質問】

○通級教室について

保育園、小学校の統廃合は

小学校は3校体制を維持



矢島 尚議員

質問：落合保育園は境保育園と統合する計画があるか。子どもの発

育状態を考慮し、町内でも小さな保育園の環境を選ぶ方がいる中、落合保育園の存続について町の考えは。

町長：今後、本郷小学校と統合する計画はあるか。学校があることで、その地域の価値観も変わる。移住を希望する方々にとっても保育園、学校の存在は大きい。人口減少対策としても存続はキーポイントの一つ。町の考えは。

教育長：両園とも存続していく。

質問：落合保育園は旧落合小学校へ移転し、相談機能の強化を検討している。境保育園は昨年から改修を進めている。小学校の複式学級は望ましくはない

との考えで統合したが、現時点では統廃合が必要な状況ではなく、統合は考えていない。3校体制を維持し、人口増対策に力を入れる。

質問：町内保育園の保育方針は国、県、6市町村並みなのか。富士見町

独自のものが。地域ならではの自然豊かな特色ある幼児教育を行っているか。

教育長：自然型保育を積極的に推進し、効果を上げているところとも連携していきたいと思っている。昨年からは▽体力をつける▽地域の方々と小・中・高校等と連携交流の3点を重点に取組み、園ごと町の特色と、各園の環境を生かした具体的な目標を打ち出し進めている。ご指摘のように今後富士見町の良さを更に活かしていきたい。

■町福祉委員について

質問：町福祉委員の年間130日以上活動者や、2期以上の任期の方への報酬増額はできないか。

町長：活動には敬意を表すが、あくまでもボランティア。報酬額は6市町村でも2番目に高いため、増額はできない。地域で支え合う気持ちで協力をいただきたい。